

京都の福祉

シェアセ運ぶ情報誌



556
2016年
9月

Contents

- 潜在有資格者の再就労に向けた取り組みと新規貸付事業について
 - 「防災・減災」は日常から
- ひとつなぎ
夢中！熱中！ふくしびと



もえぐさ

▼ 障害者や高齢者施設での虐待のニュースが増えてきている。その人の人生に寄り添う支援を行う専門職が、虐待を行うことは決して許されることではない。最も安全な善の社会福祉施設で、虐待が行われることはあってはならない▼それなのに、なぜ、虐待は起こるのか。虐待を受ける被害者には、重度の人が多く、福祉施設で虐待事件を起こした加害者の多くは、虐待の動機を「ストレスがたまっただけ」と答えている。それらの職員には、相談できる先輩や組織的に仕事をマネジメントしてくれる上司がいない、施設の中で「孤立している」という特徴もある▼虐待をなくすには、重度の人へのよりよい支援を目指して、正しい知識と技術を身につけることとあわせて、組織としてどう職員を育てていくかをマネジメントする必要がある。虐待が起きたときに、行政が行った「虐待調査」は、単に犯人捜しを行うものではない。虐待が起きるまでに、組織としてどう対応してきたのか、今後、どう対応するのかを問うものだ▼本会の実施する研修事業でも、社会福祉施設職員として正しい知識と技術を身につける研修とともに、マネジメント力を身につけ、組織としての力量をあげる研修を実施している。研修を受講いただくことで、自分自身を見つめ直し、個人の力量とともに組織としての力量を高めていただければ、ありがたいと思う。

(追記)▼この原稿の執筆後に、神奈川県相模原市のある障害者施設で、元職員が就寝中の利用者の命を次々と奪ったという事件が飛び込んだ。死者19名、負傷者26名という信じがたい事件にただただ驚くばかりだ。障害者の人権と生きる権利を蔑ろにした今回の犯行はいかなる理由があっても許されるものではない。亡くなられた方々のご冥福とご遺族に心から哀悼の意を表したい。また、負傷された方々が一日も早く回復されることを願ってやまない。差別と偏見の排除、命の尊厳と人権尊重を何よりも大切にされる社会こそ、私たち福祉に携わるものとしての使命として重く受け止めたい。

(Y・I)

「防災・減災」は 日常から

災害に強い
地域づくりを
考える

地震は突然

やってくる



平成28年4月14日からの熊本地震では、前震と本震と2度の震度7に襲われ、人的被害や家屋の倒壊等多くの被害がありました。京都府内社協では、全国的な社協による支援活動と協働し、4月27日～7月21日まで熊本県内へ職員の出遣を行い、熊

西原村の取り組み

西原村での取り組みを生かす



熊本県西原村は、人口約7,000人の村で、熊本市や熊本空港に比較的近いこともあり、新興住宅地と農村地帯が混在する村です。今回の地震では、西原村を東西に走る布田川断層に沿って家屋の崩壊が多くみられました。村内の約2,600戸ある住宅のうち、505戸が全壊776戸が半壊の大きな被害を受けました。熊本県災害対策本部の被害状況報告による。西原村社協では、災害ボランティア

「助けて」といえる関係をつくっていますか

災害が起こった時、普段はできていたことが、急にできにく

今、私たちが

できること



災害への日頃の備えとして、まずは、自分が、周囲がどうなるかを想像することが大切です。たとえば、自分自身のことし

て、防災グッズを備えていますか。また、地域の避難所や避難ルートを知っていますか。あらためて日々の備えを見直すこと



が大切なのではないのでしょうか。各自自治体では、「地域防災計画」が策定され、多くの地域で防災訓練をする等、様々な取り組みがなされています。また、京都府内では平成27年度末までに全市町村において災害ボランティアセンターが「常設化」され、災害に強い地域づくりの取り組みが進められています。そういった活動や動きを知ること、い

ざというときにどのような支援の仕組みがあるのかがわかります。次に、どのような人が自分の地域にいて、どのような困りごとがあるのかを想像してみましよう。実際、となり近所で日頃から顔見知りの関係をつくっていた地域は、被災したときに助け合えることができました。た

たの地域に高齢者や障害のある方、乳幼児のいる家庭を見守る仕組みがありますか。地域で行われている見守り活動やサロン活動などとお話しながら「防災・減災」の活動につながっていきます。日頃の生活の中で、少し想像を広げ、自分の地域を知ること、災害への「備え」の一手となるのです。



避難所でのサロン活動

京都府社協では、今回の熊本地震への支援として、京都府災害ボランティアセンター、京都市町村社協連合会等と連携し、現地の災害ボランティアセンターへの支援活動や避難所における災害派遣福祉チームの派遣、生活福祉資金貸付にかかる支援などを行ってきました。第4次中期計画の柱の一つとして掲げている「防災・減災のまちづくり」と「被災者・被災地の思いに沿った災害支援活動」に向け、今後も取り組みをすすめていきます。

【本会及び市町村社協職員の派遣】

| 災害ボランティアセンター支援(西原村) | |
|-------------------------|--------------------|
| 4月27日～7月21日 | 本会及び府内市町村社協より25名派遣 |
| 生活福祉資金緊急小口貸付支援(熊本市・益城町) | |
| 5月8日～5月13日 | 本会及び府内市町村社協より5名派遣 |
| 6月13日～6月17日 | 派遣 |

【京都府災害時要配慮者避難支援センター】

| 災害派遣福祉チームの派遣(益城町) | |
|-------------------|----------------------------------|
| 5月13日～5月31日 | 本会から先行調査隊として1名派遣 府内施設職員等16名派遣 |

【京都府災害ボランティアセンター】

| 京都府災害ボランティアセンターボランティアバスの運行及び資機材の提供(阿蘇市災害ボランティアセンター) | |
|---|----------------------|
| 4月24日 | 本会1名を含む先遣隊として3名派遣 |
| 第1陣:5月13日～16日 | 各30名がボランティア活動に参加 |
| 第2陣:5月20日～23日 | ボランティア活動に必要な資材を現地へ提供 |
| 災害ボランティア活動サポート基金 | |
| 4月25日～7月31日 | 総額896,428円(8月10日現在) |



阿蘇市内でのボランティア活動



西原村災害ボランティアセンター

回り、ニーズを聞き取りボランティアセンターに依頼するなどの動きもありました。知っている人や信頼できる人の紹介などで「相談してもよいのだ」という力になることがあります。

「いつも」の活動が、「もしも」の時に力になる

西原村は被災前から、地域のサロン活動を活発に展開している地区が多く、被災後、避難所でのサロン活動や、7月から入居が始まった仮設住宅でもサロン活動が行われています。サロンは、避難所や仮設住宅という今までの生活と異なる場所で、誰かとながら生活していくことができる心の支え、「自分の居場所」を感じ安心につながる場所にもなります。これまでの西原村での地域活動が被災時にも力となり、復興に向けた活動へつながっています。



京都から熊本へ資機材の搬送

熱中! 夢中! ふくしびと

だから続けたい この仕事

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

萩原 育羽さん はぎわら いくは

施設名 社会福祉法人あしぎぬ福祉会 満寿園
〒627-0111 京丹後市弥栄町満谷小字
竹ヶ鼻39番地の6

HP/URL : <http://www.ashiginu.or.jp/>
TEL.0772-65-0222 FAX.0772-65-0333

職種 : 訪問介護員 経験年数 : 8か月

★夢中になっている事 : 蕎麦屋めぐり、メダカの飼育



ご利用者の小さな変化に気づき、 臨機応変に対応できるヘルパーをめざして

★仕事の内容とやりがいは？
家事援助と身体介護が主であり、ご利用者の状態によって様々なサービスが提供されます。未熟な私に「ありがと」と笑顔を見せてくださり「また来てね、待ってるよ」と仰っていただけなのは本当に嬉しい反面、ヘルパーという業務と責任をもってご利用者の生活に介入させていただく意義を考えさせられています。

定例の会議では、時々刻々と変化するご利用者の状態を共有、把握し「この方にとって本当に必要な支援・サービスは何か」「この方法が最善か」等、様々な提案や問題提起がされ、この時ほどチームケアや事業所内の連携を実感することはありません。また自身身に不足している視点が明らかになり、新たな気づきにつながります。



★仕事を始めたきっかけは？
結婚を機に京丹後へ移住してきました。子どもが1歳半を過ぎ、自分の時間を作りたい、少しずつ働き始めたいと思いつつ最初の一步を踏み出せずにいた時、法人職員から「なるほどっ？ 無理のない範囲で始めてみたら？」と声をかけていただきました。子どもは施設内の保育所に預けることができ、安心して働くことができました。

「よし、次の訪問も頑張ること気持ちのリフレッシュもされているように思います。」
★プライベートの過ごし方は？
娘と遊んでいます。ジブリのDVDを見たり、行きつけの蕎麦屋さんでもらったメダカを育てたりしています。

★今後の目標(抱負)は？
訪問は毎回とても緊張しますが、読んでこまいますが、先輩方が惜しみなく伝えてくれる情報と技術を体得し、ご利用者をはじめ事業所や地域に貢献できるようにしたいです。段取り力を鍛えます！

つひになぎと

④ 日常の暮らしの中にあるつながりを見つけて結びなおす「絆ネット」の取り組みをエピソードを通してつづります。

宮津市の人口は年々減少し、4年前の2万人から1万8千人台へ突入した。一方、高齢化率は年々上昇し39%、ひとり暮らし高齢者は1千人を超える。このような状況の街で仕事をしている、よく相談の電話が鳴る。

繋がりのおかげはいつも電話から。この日は、70代女性のひとり暮らし高齢者Aさんから「誰か買い物に付き添ってほしい」という相談。平成25年2月から取り組んでいる「暮らしのかけ橋」は、日常生活における「お世話」をお手伝い。今では年間5000件を超えている。相談者の多くがひとり暮らし高齢者で、内容はゴミ捨てや外出の付き添い、家具の移動など。本来、家族がいれば家族が対応するような困りごとが相談として入ってくる。その相談のたびに、必ず相談者宅を訪問し話を聞いている。

相談者の本音はどこに…

「日頃から外へ出かけることが少なく近所との関わりが薄いAさん。話を聞くと『デイサービスへ行っていただけ、あわなくてやめた』。この地区のサロンには行かれていないのですかの質問には、「以前は行っていただけ、他の参加者と折り合いが悪くなり行けなくなった」と、買い物に相対だけでなく生活の様子を聞くことで、日々孤独を感じておられることが伝わってくる。

後日、Aさんは社協がお願いした協力者と一緒にスーパーへ買い物に協力者はAさんの介助をするわけでもなく、Aさんと話をしながらスーパーへ向かった。

こうして孤独を感じていたAさんが、誰かと繋がることで、Aさんの気持ちにホッとしたり、少しでも孤独感が解消されたり。買い物に付き添いは、ただの口実に過ぎないのではないだろうか。本音は「誰かと話したいのではないかと」。相談者一人ひとりが抱えている困りごとや思いは違う。けれど、多くの相談者が「不安」や「寂しい」という言葉からは、どこかで誰かと関わりを持ちたいという思いを感じる。その思いに寄り添ってあげたい。まずは依頼者と出会い、話を聞くことが大事なことのように思う。だから、相談は断らない。

(宮津市社協 上辻孝太)

平成28年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます
ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

| 補償金額 | 賠償期間 1年 | | |
|-------------------------|----------------|--|--|
| | 基本補償(A型) | 見舞費用付補償(B型) | |
| 対人賠償(1名・1事故) | 2億円・10億円 | 2億円・10億円 | |
| 対物賠償(1事故) | 2,000万円 | 2,000万円 | |
| 受託・管理財物賠償(期間中) | 200万円 | 200万円 | |
| うち現金補償限度額(期間中) | 20万円 | 20万円 | |
| 人格権侵害(期間中) | 1,000万円 | 1,000万円 | |
| 身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中) | 1,000万円 | 1,000万円 | |
| 事故対応特別費用(期間中) | 500万円 | 500万円 | |
| お見舞い等 | 被害者対応費用(1名につき) | 死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度) | 死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度) |
| | 傷害見舞費用 | 死亡時100万円 入院時1.5-7万円 通院時1-3.5万円 | |

◆28年度新設 使用者賠償責任補償(プラン3-①オプション)
社会福祉法人役員の賠償責任補償(プラン4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
保険会社 TEL: 03(3593)6824
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 施設利用者の補償
プラン3 施設職員の補償
プラン4 社会福祉法人役員の補償

京都府社会福祉協議会 からのお知らせ

寄付

御寄付ありがとうございました

平成28年7月8日に大同生命保険株式会社様、AIU損害保険株式会社様より190,700円の御寄付をいただきました。御芳志の趣旨に沿い活用させていただきます。ありがとうございました。

案内

SKY(スカイ)フェスティバル2016 開催のお知らせ

府民の健康保持・増進・ふれあい、生きがいの高揚を図ることを目的としてフェスティバルが開催されます。

1日目には、あの「くまモン」もやってきます！ 2日目ゲストは天才ミュージカルキッズの上垣ひなたちゃんが登場！
その他、プロスポーツ交流体験、舞台発表、シニアと子どもの交流広場などの企画があります。是非ご家族そろってお越しください。

- 開催日：9月17日(土)・18日(日)
- 会場：京都パルスプラザ
(京都市伏見区竹田)

保育園就職フェアを開催します！

保育園で働きたい方、就職のチャンスです。ぜひご参加ください！

- 日時 10月15日(土) 14:00～17:00
- 会場 烏丸コンベンションホール
(地下鉄「四条」駅下車)
- 対象 保育園への就職を希望する一般・学生(来年3月卒業予定)の方

福祉資格者就業サポート研修を 開催します！

介護職への就労、復職をサポートする研修を開催します。介護の仕事をした方、ぜひご参加ください！

- 日時および会場
(北部) 10月15日(土) 10:00～16:00、
10月16日(日) 10:00～16:30、福知山公立大学(JR福知山駅から車で5分)
- (南部) 11月1日(火) 10:00～16:00、
11月2日(水) 10:00～16:30、京都テルサ(地下鉄九条駅から徒歩5分)

- 対象 介護職員初任者研修等を修了し、介護職に従事していない方
- 主な内容
第1日 認知症ケアの知識・必要とされる介護人材について
第2日 介護の知識・歩行介助等の実技

平成28年度「福祉サービス苦情解決 事業セミナー」を開催します！

- 日時 11月17日(木) 13:15から
 - 会場 立命館大学朱雀キャンパス(最寄駅JR「二条」駅、地下鉄「二条」駅)
 - 対象 福祉サービス提供事業所の苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員等
 - 内容 ①「苦情解決におけるコミュニケーションスキルアップのために」講師：精神科医 有賀やよい氏(運営適正化委員会 苦情解決合議体委員)
②「理不尽な苦情に対する対応の現状と課題」講師：関西大学社会学部教授 池内 裕美氏
 - その他 参加費は無料 定員は300名
- 【問い合わせ先】
京都府福祉サービス運営適正化委員会
TEL.075-252-2152

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。
<http://www.kyoshakyo.or.jp>



本紙は、共同募金の配分金によって
つくられています。

TOPICS

第48回近畿児童養護施設研究協議会 京都大会が開催される

児童養護施設に実現が求められている「小規模化と運営」をテーマに、去る6月7日(火)～8日(水)の2日間にわたり宮津口イダルホテルで「第48回近畿児童養護施設研究協議会京都大会」が開催されました(参加者245名)。今大会では54名の永年勤続職員の方々表彰されるとともに、全養協報告や分科会、全体報告が行われました。分科会で熱心に意見交換をされた内容が全体報告で参加者全員に共有され、小規模化に向けたこれからの児童養護施設の課題や将来像について検討を深める大会となりました。

平成28年度近畿母子生活支援施設 研究大会が開催される

6月22日(水)～23日(木)の2日間にわたり、新・都ホテルにおいて平成28年度近畿母子生活支援施設研究大会が開催されました(参加者126名)。『母子生活支援施設のグランドデザイン「私たちのめざす母子生活支援施設(ビジョン)」の実現に向けて』をテーマとして、基調報告や記念講演、3つの研究部会での実践報告や協議が行われました。

ひとり親世帯の貧困問題等が課題となっている中、母子生活支援施設が果たすべき役割について共有し、新たな支援の実現に向けてどのような一歩を踏み出すべきか考える機会となりました。

大相撲京都場所

10月20日(木) 8時～15時
島津アリーナ京都(京都府立体育館)

公開稽古、わんぱく相撲、相撲甚句、横綱以下各取組など
主催：大相撲京都場所実行委員会(榎本頼兼 実行委員長)
京都市中京区向替町通竹屋町下ル松竹町131番地(京都商工会議所ビル北側)
TEL:075-211-7622 / FAX:075-211-7623(平日午前10時～午後5時まで)
共催：公益財団法人 日本相撲協会

<楽しんで、人との絆、大相撲>

「大相撲京都場所」、皆さまとともに京都の風物詩として定着させたいと存じます。「楽しんで!人との絆、大相撲」、ご来場お待ちしております。

チケットのお求めは
「チケットぴあ」まで。
☎0570-07-8833 オペレーター対応
10:00～18:00
詳しくはホームページをご覧ください。
URL <http://oozumou-kyotobasho.com>



★お弁当つき(1,500円)のチケットをお買い求めください。

※東日本大震災ならびに熊本震災で被災され京都府に避難されておられるご家族の方々ならびに京都在住の留学生、福祉関係者など約1500名が無料招待されます。(位高会長は実行委員会顧問に就任しています。)